

*

環境カウンセラー活動実績等報告書

平成22年			
(ふりがな)	ヤマダ トシハル	登録区分	事業者部門
氏名	山田 利春		市民部門
登録番号	2008225003		
連絡先 (HP掲載)	〒520-0528 住所 滋賀県大津市和邇高城363-6 電話 (077) 594-1049 ファックス (077) 594-1049 E-mailアドレス toshiharu@mtb.biglobe.ne.jp (上記連絡先が勤務先の場合) 勤務先名		
環境コンサルティング活動の実績 (1項目 150文字程度) (環境コンサルティング: 環境保全活動を行おうとする者に対する環境保全及び環境保全活動に関する知識の付与並びに助言または指導)	評価※	コメント (今後の改善点等)	
1. 地域の環境問題に取り組む任意団体「しがの里山や川を美しくする会」を立ち上げ事が出来た。比良山系の麓はごみの不法投棄が多く、川が汚れ鮎やホタルがいなくなった。これを復活させるには、活動団体が必要になる。準備会を粘りず良く開催し続け、10月に環境問題に取り組む任意団体設立にこぎつけた。	○ △ ×	月1回のペースで準備会を開催し、6回の準備会の後、総会を開催した。急がず粘りず良く進めた成果。	
2. 滋賀県環境カウンセラー協会に所属し、市民部門の責任者の一人として、会員同士の情報交換に努めるとともに、協会としての取り組みを進めた。協会内で「比良山系の環境問題」と題して発表し、会員同士の相互理解、連帯の輪を広げる活動を行った。市民の温暖化対策に対する学習・啓蒙活動と実践活動、小学生(5年生)の環境課外学習への協力活動等に取り組んだ。	○ △ ×	市民部門の責任者の一人として、協会活動にも積極的に取り組んだ。連帯の輪を広げる必要がある。自身の活動にも大変参考になった。	
3. 地域の自治会の環境問題に相談に乗り、政策提言、法律的側面などで、助言を行った。最終処分場、汚染土壌処理施設、各種廃棄物中間処理施設について、業者の行動・行政の対応のどこに問題があるか、文書等で回答し、また、問題点と対策、行政への提言等で、関係者に助言を行った。	○ △ ×	住民の目線で見ることの大切さと難しさを学んだ。(頭で考え、教科書通りになると考えやすい。)	
4. 大学院環境経済学ゼミに毎週出席し、院生・研究生の発表を聴き、意見交換を行っている。(院生が現場を軽んじることにならないよう、発言するとともに、自身も「改正・土壌汚染対策法とリスクコミュニケーションの現状」と言うタイトルで、研究発表を行った。)	○ △ ×	加齢とともに情報が入りにくくなり、独善に陥りやすくなるが、週1回の将来ある若者との交流は刺激になってよい。私の勉強量が足りない。	
5. <環境問題と住民紛争> に関しては、住民と行政側に接触し、「リスクコミュニケーション」の視点で意見を当事者間に伝えている。リスクコミュニケーションの考え方は滋賀県の行政担当者には理解されていないようだ。紛争解決の足掛かりとなるのではないかと考えており、「住民合意形成」のプロセスに向けた取り組みを進めている。当事者間にその方が、労力が少なく成果が大きいということ、理解させたい	○ △ ×	住民紛争の簡単な解決方法はない。力量不足を感じるが、住民紛争の体験者が、経験をもちよる必要がある。	

研修の履修状況又は研さん活動の実績（150字以内）	150文字	※ここに記載した文字数を入れて下さい
<p>1. 細田 先生より『環境制約と経済の再生産』で環境理論の集中講義を受けた（2月14～16日） 2. 原田 先生の「水俣学」に関する講演で環境の実践活動のあり方を学ぶ（2/15） 3. 平成22年度環境カウンセラー研修に参加（12/1） 4. 「産業廃棄物の排出事業者・・・講師養成講習会」に参加（12/10）</p>		
環境カウンセラー活動における今後の課題（150字以内）	113文字	※ここに記載した文字数を入れて下さい
<p>環境カウンセラーの存在が、社会的に認知されていない。自治体等に理解されていない。この種の資格が多すぎて混乱している。まずこの点を、協会内でどのように乗り越えていくかの議論が必要。自分のホームページを立ち上げPRをしていきたい。</p>		
今後の活動計画（150字以内）	132文字	※ここに記載した文字数を入れて下さい
<p>これまでの活動を継続するとともに、新しく発足した「しがの里山や川を美しくする会」の活動を軌道に乗せたい。〈環境問題と住民紛争〉に関しては、一緒に研究をする仲間を見つけない。又、活動が独善的にならないように心掛けるとともに、活動の幅を縮小してより専門的知識を深める。</p>		
<p>環境カウンセラー登録制度実施規程第9条の規定に基づき、平成22年の活動実績等の状況を報告します。</p> <p style="text-align: center;">平成23年2月23日</p> <p style="text-align: right;">氏 名 山田 利春</p> <p>環 境 大 臣 殿</p>		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする